

# 世田谷区基本計画（素案）に対するDecidimに投稿された主な区民意見及び区の考え方

分野	意見概要	区の考え方
子ども・若者	<p>子どもたちが伸びやかに育つよう、世田谷区ならではの教育があっても良いのではないのでしょうか。子どもたちが大人に見守られて安心して過ごし、笑顔で自発的に多くのことを経験したり、学べる環境をつくるため、学校運営に地域やボランティアの人たちにもっと参加してもらってもよいのではないのでしょうか。</p>	<p>世田谷区では、「学校で地域を支えるしくみ」として、地域と学校が連携していく体制づくりを行うために、地域住民や保護者、卒業生等で構成された、学校運営に参画する「学校運営委員会」と、学校の依頼に応じて教育活動を支援するためのボランティアや団体などとの調整を行う「学校支援地域本部」を全小・中学校で導入しています。</p> <p>今後も引き続き、地域と学校が協力し合い、子どもたちの教育を、より効果的に、継続的に支えられるよう、取組みを進めてまいります。</p>
教育	<p>子どもの権利への理解について、子どもだけでなく、教員に対する理解促進も明記していただきたいです。</p>	<p>教育委員会においても、子どもの意見を尊重した施策を推進するためには、子ども権利条約やこども基本法における「子どもを個人として尊重する」「子どもの意見を尊重する」などの基本理念を踏まえておく必要があります。</p> <p>今後、施策を推進する際には、子どもの意見表明の場を確保し、反映に努めるよう職員の意識醸成を図っていくことを、教育振興基本計画においてお示ししており、主権者教育の推進とともに教員の理解促進にも取り組んでまいります。</p>
	<p>学校は、民主主義の土台を形成する場であることを明記していただきたいです。</p>	<p>区では、令和5年4月に施行されたこども基本法の理念を踏まえて、新たな有権者となる児童・生徒が国家や社会の形成者として主体的に参画しようとする資質や能力を育成する取組みを推進することとしています。</p> <p>学校生活においても自治的活動をより推進し、学校生活を自ら改善する経験を積み重ねるとともに、学んだことを生かす体験的な学習とも関連付け、児童・生徒が社会の仕組みに変化をもたらすことを実感できるような取組みを進めてまいります。</p>

# 世田谷区基本計画（素案）に対するDecidimに投稿された主な区民意見及び区の考え方

分野	意見概要	区の考え方
健康・福祉	<p>日本は先進国の中でひとり親世帯の貧困率が最も高いという現状を踏まえ、区は喫緊に支援に取り組むべきです。潜在的な要支援者の把握も進め、支援を行っていく必要があると思います。</p>	<p>平成30年度に世田谷区の子どもの生活実態を把握するために、子どもの生活実態調査を実施しました。この調査結果等をふまえ、令和2年3月に、「子ども計画（第2期）後期計画」に内包するかたちで、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく子どもの貧困対策計画を策定しました。現在、この計画に基づき、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、保護者の子ども期からの貧困の連鎖を断ち切ると同時に、新たな貧困の連鎖を生まないように、すべての子どもが健やかに育成される環境を整備していくとともに、ひとり親世帯のみならず、ふたり親世帯も含む生活困難を抱える子どもや保護者に対する支援を地域と連携しながら全庁的に推進しています。</p>
環境・リサイクル・みどり	<p>区民農園をたくさん増やし、区民の憩いや緑の創設に役立ててほしいです。</p>	<p>区民農園は、区内の農地所有者のご協力により農地を借り受けて、区民の皆様の農業への関心と理解を深め、農地の保全と緑地空間の確保を図ることを目的に開設しています。今後も引き続き、区民農園の整備を進めてまいります。</p>
都市整備	<p>電線の地中化を進め、景観に優れた街並みづくりを実現して欲しいです。</p>	<p>都市防災機能の強化や安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図るため、無電柱化整備は重要だと考えております。なお、本計画においては、無電柱化整備事業を実施計画に位置づけ、計画的に取り組むを進めてまいります。</p>